



ジュニア・ユース「かながわレガッタ」開催にあたって

第19回ジュニア・ユースクリスマスカップ

兼 2022年ジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップかながわレガッタ

神奈川県セーリング連盟

会長 貝道 和昭

神奈川県セーリング連盟は、セーリング活動の普及、競技力向上を目指して、毎年様々な取り組みを行っております。

とりわけジュニア・ユースセーラーの育成強化は、将来のオリンピック選手、神奈川県の国体選手強化に結び付くものとして、連盟にとって大きな課題であり使命でもあります。この育成強化に向けて、ジュニア・ユースセーラーの皆さんにレースの機会を提供する「かながわレガッタ」の開催も今年で19回目を迎えました。

昨年は、東京オリンピック開催の影響もあり、十分な練習が出来なかったと思いますが、今年は1年間しっかりと練習が出来たと思います。

今年の活動のまとめとして、寒い時期ではありますが、この「かながわレガッタ」を通して心身の鍛錬を目指し、存分にセーリングを行い、同世代で競うことにより自らの技量と次の目標を確かめる場として戴きたいと思っております。

今年も、コロナ禍の影響で韓国京畿道との国際交流レガッタも開催できませんでしたが、来年はコロナ化が収まり、大会が開催できますことを心より願っております。

今後、「かながわレガッタ」がジュニア・ユースセーラーに慕われ愛されます様、我が連盟は全力を尽くしてまいります。

また、開催にあたりまして黒岩神奈川県知事、鈴木藤沢市長をはじめ、ご支援、ご協力を戴きました多くの関係者の皆様方にこころより感謝を申し上げます。

令和4年12月